



TITLE:

露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(六)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

---

CITATION:

米田, 庄太郎. 露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(六). 經濟論叢 1918, 6(2): 213-231

ISSUE DATE:

1918-02

URL:

<https://doi.org/10.14989/127332>

RIGHT:

# 露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徵ト

## 最近ノ大革命 (六)

米田庄太郎

### 第一節 社會進化ト資本主義

#### (五) 主觀主義

却説サキニ述ベシ、西歐主義ノ代表的思想家ノ影響ニヨリテ、大ニ活躍シ來レル露國ノいんてりげんちやノ人民主義運動ハ、段々高マリテ遂ニ千八百六十年代及ビ同七十年代ノ半頃ニ至ル間ニ有名ナル「チ」なる「運動、即チ「人民ノ中ニ行ク運動」トナツタノデアルガ、此ノ運動ノ始マリシ際ニハ、今ヤ人民ハ土地問題ニ關シテ何等カノ斷然タル處置ヲ切望シ、如何ナル革命的解決案モ、喜ンデ之ヲ受ケルデアラウト信セラレ、而シテ該信仰ノ下ニ於テいんてりげんちやハ或ハ工業的勞働者トナリ、或ハ農業的勞働者トナリテ、人民ノ間ニ進入シタノデアアル。然ルニ今人民ノ間ニ入り、彼等ト直接ニ接觸シテ見ルト、彼等ノ心情ハ全ク豫期ニ反スルコトガ發見サレタ。人民ノ希望スル處ハ、或奇蹟ニヨリテ彼等ノ生活ノ困難ガ救ハルルコトデアツタ。併シ其ノ奇蹟ハ彼等自身ノ努力ニヨリテ行ハルルモノデナク、忽然上カラ下ルモノデアルト信ンジテ居ツタ。ツ

マリ彼等ノ生活ハ彼等自身ノ努力ニヨリテ改善サレルモノデナク、上ヨリノ奇蹟ニヨリテ改善サレルモノデアルト信ジ、只何時カ此ノ奇蹟ノ忽然起ルコトヲ待ツテ居ルニ過キナカシタ。而シテ自カラ何等カノ運動ヲ起サントスル念ハ全ク存在シナカツタ。彼等ハ官吏ニヨリテ又ハ地主ニヨリテ、不正ナル行爲ガ、彼等ニ加ヘラレテ居ルコトヲ意識シタ時デモ、只夫レハ彼等ノ生レ落テテカラ當然受クル可キ運命デアルトアキラメテ居ツタ。殊ニ彼等ハ未知ノ將來ノ爲メニ既知ノ現在ヲ捨テルコトヲ恐レタ。彼等ハ此ノ世ニ生レテカラ、常ニ上ノ命令ニ服從シ、決シテ抵抗シナイコトニ慣レテ居ツタ。而シテいんてりげんちやガ彼等ニ教ユル革命的改善ハ、アマリニ空想的デ、到底此ノ世ニ實現シ得ラルルモノデハナイ様ニ考ヘラレタ。要スルニ「ぎ、なろど」運動ハ、いんてりげんちやニ對シテ、少クモ二ケノ甚ダ重要ナル教訓ヲ與ヘタノデアル。其ノ一ハ人民ノ大多數ハ、マダ全ク自覺シテ居ラナイカラ、いんてりげんちやノ進歩セル思想ヲ理解スルコトハ到底不可能デアルト云フコトニシテ、其ノ二ハ露國ニ於テハ如何ナル進歩ガ行ハルルニセヨ、其ノ進歩ハ一般人民ノ運動ニヨリテ行ハレルノデハナクシテ、批判的智力的ナル階級ノ創意及ビ活動ト、彼等ノ非利己的献身の努力トニヨリテ始メテ行ハルルモノデアルト云フコトデアル。ツマリ一般人民ノ自發的奮起或ハ運動ニヨリテ、直チニ露國ノ革命ヲ遂行シ、或ハ其ノ根本的改善ヲ圖ラントスル西歐主義者傳來ノ思想ノ空想ニ過ギザルコトガ、「ぎ、なろど」運動ニヨリテ痛切ニ認識セラルルト同時ニ、又其ノ革命或ハ根本的改善ハ、只批判的智力的階級ノ創意及ビ活動ト、其ノ献身の努力トニヨリテ、人民ガ段段ニ教育セラレ、自覺シ來ル結果トシテ始メテ實現シ得ラルルモノ

ナルコトガ明ラカニ覺ラレタノデアル。而シテ夫レヨリシテ茲ニ新シキ社會的思想運動ガ發達シテ來タ。夫レハ從來ノ如ク人民ヲ中心トシテ考察スルモノデナク、批判的知識階級ヲ中心トシテ考察スルモノデアル。而シテ此ノ思想運動ハ一般ニ主觀主義派ト稱セラルル一派ノ思想家ニヨリテ指導セラレ、青年いんてりげんちやノ上ニ重要ナル影響ヲ及ボセルモノデアル。余ハ茲ニ先ヅ主觀主義ノ創說者ト認メラルルらざるゾノ思想ヲ論究シ、次ニ主觀主義ノ精神ヲ最トモ十分ニ發揮シタモノト云ハルルみかいろうすきノ思想ヲ論究シテ、以テ主觀主義派ノ思想ノ骨髓ト、其ノ社會進化ト資本主義トノ關係ニ關スル見解ノ大要トヲ究明シタイト思フ。

Peter Lavrovovich Lavrov (1828-1900.)

らうろゾモ彼ノ時代ノ多クノ思想家ト同ジク、ヘーゲルノ哲學ヨリ出發シテ、ヘーゲルノ左黨ノ哲學ニ移ツタ。併シ他ノ思想家ハ一般ニふおいてるばつは以上ニ出ヅルコトハ出來ナカツタガ、らうろゾハふおいてるばつはヨリ更ニかんとニ返ツタ。彼ハ又佛國ノ哲學を研究シテ殊ニこんど及ビ實證派ノ影響ヲ受ケタガ、尙ホ佛國社會主義者ノ中デ最トモ多ク彼ニ影響ヲ及ボシタルハぶるごんデアツタ。更ニ彼ハ英國ノ哲學ヲモ研究シ、殊ニだーういん及ビすべんさーノ思想ヨリシテ、多大ナル影響ヲ受ケタノデアル。

らうろゾハ主觀主義派ノ創設者ニシテ、客觀的方法ニ對抗セシメテ主觀的方法ヲ主張シタル最初ノ思想家(露國ニ付テ云フノデアル)デアルト云ハレテ居ル。然ラバ彼ノ主觀的方法或ハ主觀的見地ト稱スルハ如何ナルモノデアルカ。批評家ハ之ヲ種々ニ解シテ論評ヲ加ヘテ居ルガ、併シ彼

ノ眞意ハ比較的ニ單純ナモノデアルト考ヘラレル。茲ニ詳シク論述スル暇ハナイカラ、余ノ理解スル處ニ從フテ極簡單ニ述ベテ置クガ、要スルニラゾろゾノ社會學的及ビ哲學的考究ノ中心問題トナツテ居ルノハ、自己ノ倫理的及ビ歷史的價值ヲ自覺スル箇人デアル。批判的ニ事物ヲ考察スル智者デアル。彼ノ云フ處ノ批判的精神ヲ發達サセテ居ル人格者或ハ批判的ニ思考スル人格者デアル。而シテ彼ハ社會的進步ヲ以テ箇人が其ノ充全的發達ヲ實現スル爲メノ手段ニ外ナラヌト考ヘテ居ツタ。是レ彼ノ有名ナル進步ノ定義ニヨリテ明ラカニ示サレテ居ル事實デアル。而シテ其ノ進步ノ定義ト云フハ、即チ「進步ハ連帶共同ガ箇人ニ於ケル行爲ノ意識的過程及ビ反省的動機ノ發達ヲ障害シナイ範圍内ニテ、益々發達シ益々強マルコトニ於テ成立スル。進步ハ又同様ニ箇人ニ於ケル行爲ノ意識的過程及ビ反省的動機ガ益々大ニ且ツ益々明瞭ニ發達スルコトニ於テ成立スル。但シ此ノ發達ガ出來ルダケ多數ノ箇人間ニ於テ、連帶共同ノ發達シ又強マルヲ害シナイコトヲ要ス。」サレバラゾろゾニアリテハ箇人ハ人類進步ノ到着點デアツタコトハ明ラカニ認メラレルガ、尙ホ彼ハ箇人ヲ以テ又其ノ出發點トモ考ヘテ居ツタ。彼ノ考ヘニヨレバ、歷史ニ於ケル總テハ箇人ノ爲メニ又箇人ニヨリテ造ラレタルモノデアル。併シ彼ハ歷史的決定主義ヲ全然排斥スルノデナク、其ノ一面ノ眞理ヲ十分ニ承認シ、而シテ之レト彼ノ箇人主義的見地トノ調和ヲ試ミテ居ルガ、其處ニ彼ノ主觀的方法ト稱スルモノノ眞義ガ最トモヨク發揮サレテ居ルト思ハルカラ、茲ニ之ヲ少シク述ベテ置キタイト思フ。

夫レ歷史的及ビ社會的生活ニ於テ生起スル總テハ、決定主義ニ從ヒ、決定サレタル原因ニヨリ

テ宿命的ニ生産サレルモノデアル。地質的、物理的及ビ化學的諸法則ノ全體ハ、人類史ノ可能ヲ包有シ、其ノ地盤トナル處ノ宇宙の環境ヲ準備スル。又生物學的、生理學的及ヒ心理學的諸法則ノ全系列ハ、無機界ノ進化ヨリ人類ノ出現スルニ必要ナル準備條件ヲナス。吾人ハ宇宙的及ヒ有機的進化ガ、何時又如何ニシテ人類ノ意識ヲ産出スルニ至レルカヲ知ラナイガ、併シ人類ノ意識ハ決シテ偶然ニ發現セシモノデモ、亦之レニ反シテ全ク器械的法則ニ還元シ得ラルルモノデモナイコトハ疑ハレナイ。而シテ宇宙の環境及ビ有機的の環境ヲ産出シ、「創造ノ王」ナル腦髓ヲ賦與サレタル人類ヲ發生セシメタル其ノ宿命的の不可避的決定原理ハ、又人類ニ於テ、一定ノ目的ヲ設定シ、其等ノ目的ヲ實現スルニ必要ナル手段トシテ、其ノ環境内ノ一定ノ要素ヲ考察スル必要ヲ呼び起ス。人類ノ意識ハ一度普遍的決定原理ノ盲目的過程ニヨリテ創造サレタル以上ハ、夫レ自身ニ特別ナル性質ヲ具有スル。而シテ此ノ特有性ニヨリテ、人類ハ一定ノ目的ヲ設定シ、之ヲ實現セン爲メニアラユルモノヲ手段ニ用ヒテ活動スル實在物トシテ、必然的ニ觀念サレネバナラヌモノトナル。生産物トシテノ人類ガ轉シテ創造者トナリ、結果トシテノ人間ガ轉ジテ原因トナル。彼ハ彼ノ一切ノ行爲ハ彼ノ力ヲ以テ如何トモナシ難キ原因ノ連鎖ニヨリテ嚴格ニ決定サレテ居ルコトヲ意識シテ居ルニ係ラズ、自カラ自分ハ自由デアルト信ジテ居ル。隨フテ又自カラ道德的ニ責任ヲ有スルモノト信ジ、自分ハ單ニ自然現象ニ過ギナイモノデハナク、一ノ倫理的人格デアルト宣言シテ居ル。一派ノ人々ハ此ノ如キ自由ハ見掛上ノ現象ニ過ギヌト論ジテ居ル。併シ見掛上ノ現象ハ實在シナイモノデアルカ。太陽ノ見掛上ノ可視的運動ハ其ノ眞實ナル不動ト同様ナ事實デナイ

カ。感官ノ證明ハ科學ノ證明ノ如クヤハリ自己ノ價值ヲ有スルモノデアル。而シテ人類ハ實際上器械的決定原理ガ存在シナイモノノ如クニ活動シテ居ル。彼ハ自働器械トシテデハナク、意志スル裝置、思考スル裝置トシテ活動スル。人間ハ活動シ、自己特有ノ理想ヲ實現セント努力スル以上、自由デアル。此クテらづろぐニ於テハ、自由ハ必然ノ結果ノ一トナツテ居ル。併シ彼ハ自由ヲ客觀的ノモノト見タノデハナイ。彼ノ考ヘニヨレバ、自由ハ純主觀的ノモノニシテ、只意識ノ事實トシテノミ價值ヲ有スモノ、吾人ハ只吾人自身ガ自由デアルト信スルニ於テノミ、自由デアルノデアル。らづろぐハ以上述ベシ如クニ歴史ヲ觀念シタルデアルカラ、彼ニアリテハ歴史ハ盲目的決定原理ノ支配スル客觀的世界ハ異ナレル特別ナ世界ヲナスモノデアル。隨フテ之ヲ客觀的方法ニコリテ研究シタレバトテ、到底理解シ得ラレルモノデハナイ。吾人ハ或特別ナ方法ヲ用ヒテ之ヲ研究シナクレハナラス。而シテ其ノ方法ヲらづろぐハ主觀的方法ト稱シタルデアル。要スルニ彼ノ主觀的方法ト云フハ、ツマリ簡人ノ完全的發達ヲ眼目トシテ、歴史ヲ倫理的目的論的見地ヨリ考察スルコトヲ意味スルモノデアル。而シテ彼ハ此ノ方法ヲ用ヒテ歴史ヲ研究シナクレバナラヌ理由ヲ、更ニ三種ニ分ツテ論述シテ居ル。其ノ一ハ歴史ノ一切ノ事實ヲ記錄シ、又考察スルト云フコトハ、到底不可能デアルカラ、自カラ選擇ヲ行ハナクレバナナイガ、然ルニ其際選擇ノ客觀的標準ト認ム可キモノハ全ク存在シナイガ故ニ、考察者ノ人格ヲ以テ其ノ標準トナサザルヲ得ザルコト、其ノ二ハ、歴史の現象ニ就テ、正常的本然的ノモノト不正常の病的ノモノトヲ區別スルニ於テモ、やはり客觀的標準ハ存在シナイカラ、自カラ考察者ノ人格の標準ヲ用ヒザルヲ得ザルコト、其ノ

二ハ歷史の發達ニ就テ其ノ現實ニトレル方針以外ノ或方針モ亦可能デアリ得ルト考ヘテ考察スル場合ニモ、ヤハリ考察者ノ主觀ガ標準トナラザルヲ得ザルコト等デアル。尙ホ吾人ハらざるヲノ歷史觀ヲ考究スルコトニヨリテ、彼ノ主觀の方法ノ眞義、殊ニ批判的ニ思考スル人格ヲ中心トシテ、社會ノ進歩ヲ圖ルト云フ彼ノ根本の見解ヨリ見タル、彼ノ主觀の方法ノ深い意味ヲ一層ヨク理解スルコトガ出來ルト思フカラ、次ニ少シク之ヲ論述シタイト思フ。

今らざるヲハ自然ト歷史トヲ嚴格ニ區別シテ觀念シ、自然ハ反復スルガ、歷史ハ反復シナイト考ヘタ。サレバ彼ノ見ル處ニヨレバ、各歷史現象ハ夫レ夫レ特有ノモノデアル。而シテ夫レガ爲メニ歷史現象ヲ自然現象ノ研究法、即チ客觀的方法ニヨリテ研究スルコトハ穩當デナイト考ヘ其ノ點ニ於テハういんでるばんどヤリつかゝと等ト同様ナ見解ヲ述ベテ居ツタ。併シらざるヲハ更ニ歷史ト文化、或ハ歷史的生活ト慣習的文化トヲ區別シテ一層詳シク歷史ノ真相ヲ究明セント試ミテ居ツタガ、其ノ點ニ於テハ又彼ハげんどノ歷史現象ト民族心理現象トノ區別ニ類似スル見解ヲ立テテ居ツタ。彼ノ考フル處ニヨレバ、歷史ハ只箇人意識ガ發達シ、少數ノ識者ガ傳説及ビ慣習ヲ反省の批判ニ附シ、之ヲ眞理ト正義トノ意味ニ適合スル様ニ化成セント努ムルトキニ於テノミ始マル。歷史ハ少數ノ選良ノ批判的思考ノ領分デアル。之レニ反シテ文化ノ領分ニ於テハ傳説或ハ慣習ガ大ニ勢力ヲ振フ。而シテ傳説或ハ慣習以上ニ上リ、之ヲ合理的批判ニ附シ合理的意味ニ化成スルコトノ出來ナイ總テノ箇人或ハ人民ハ、歷史的生活ノ外ニアルノデアル。今日ノ文明國ニ於テモ其ノ社會的及ビ經濟的地位ニヨリテカ、又ハ其ノ精神の習慣ニヨリテカ、全



ク歴史の生活ノ外ニ止マル可ク宿命的ニ拘束サレテ居ル多數ノ箇人ガアル。此等ノ箇人ハ先ヅ支配階級ノ人々デアル。彼等ハ只彼等ノ特權ヲ保持スルコトノミヲ考ヘ、而シテ其他ノ事ハ總テ傳説及ビ慣習ニ放任シテ居ル。彼等ハ流行及ビ慣習ノ奴隸デアル、「開化セル野蠻人」デアル。而シテ其等ノ「開化セル野蠻」ノ中ニハ、勳賞デ胸ヲ飾レル學者モアレバ、著名ナル大學教授モアル、又世界の名聲ヲ有スル著作家モアル。併シ彼等ハ其ノ思考ニ於テ只傳説の方法ヲ用ヒ、批判的精神ヲ缺キ、多數民衆ガ器械的ニ遵奉スル傳説及ビ慣習ヲ其ノ儘ニ辯護シ、又慣習の文化ヲ批判シテ、之ヲ合理的ニ化成セントハシナイカラ、全ク歴史の生活ノ外ニ在ツテ、人類ノ進歩ニドツテハ無視サル可キ分量デアリ、又ハ障害物デアル。併シ吾人ノ文明社會ニ於テハ、彼等ノ外ニモ、今日マデ歴史の生活ノ外ニ止マツテ居ツタ人々ガアル。是レ過度ノ勞働ニヨリテ壓迫サレ、且ツ只一日ノ生存資料ヲ得ルコトニノミ全力ヲ盡クサネバナラヌカラ、意識的反省の生活ヲ營ミ、批判的思考ヲ慣習の文化ニ施シ、之ヲ合理的ニ化成スル餘暇モ餘力モ有シナイ人々即チ勞働者デアル。彼等ハ文明ノ犠牲デアリ、人生ノ苦難者デアル。而シテ今ヤ少數ノ識者、批判的ニ思考スル人格者ガ、彼等ノ現實ナル地位ヲ詳明シ、彼等ノ困難ヲ生ズル無數ノ原因ヲ究明シ、以テ彼等ヲ歴史の生活ニ參與セシメント努力シツツアルノデアル。要スルニ批判的思考ニヨリテ、慣習の文化ノ上ニ加工セントスル努力ノ起ルマデ、歴史の運動ハ存在シナイ、又之ヲ箇人の意識及ビ社會の連帶共同ノ發達ノ主旨ニ適合セシメテ化成セントスル企デノ行ハルルマデハ、歴史の運動ハ進行シナイノデアル。終ニ批判的科學的思考ノ發達ヲ助長シ、人類ノ連帶共同ヲ益々強メルモノハ、

進歩のデ、歴史のデアルガ、之レニ反スルモノハ總テ反動的のデ、非歴史のデアル。

却說以上述べ來リシ處ニヨリテ、らづろづノ主觀的方法ノ精神ハ如何ナルモノデアルカヲ審明シ、且ツ之レニ結ビ付ケテ、批判的ニ思考スル人格者ヲ中心トシテ考察スル彼ノ歴史の生活ノ觀念、人類進歩ノ觀念ハ、大體上如何ナルモノデアルカヲ說述シタガ、今彼ガ主觀的方法ニヨリテ構成セル彼ノ思想體系ハ、根本的ニ三大部門ニ分タレルコトガ出來ル。其ノ一ハ社會的連帶共同論或ハ社會的統制論ニシテ、其ノ二ハ個性化論或ハ人格論、而シテ其ノ三ハ進歩論デアル。併シ茲ニハ此等三部門ノ各ニ就テ、彼ノ思想ヲ說述スル暇ハナイカラ、只最後ノ部門、即チ進歩論ノ根本思想ヲ極簡單ニ述べ、其ノ思想ノ上カラ見テ、彼ハ社會進化ト資本主義トノ關係ヲ如何ニ考ヘタカラ示スニ止メテ置ク。

今らづろづノ進歩論ハ下ノ三問題ノ研究ヨリ成立シテ居ル。(一)生物學、心理學及ビ社會學等ノ今日ノ研究ニヨリテ與ヘラルル材料ニ基ヅキテ考察スレバ、人類社會ニ於ケル進歩ハ如何ニシテ成立シ得タリシヤ。(二)分類サレ、又詳シク探究サレタル歴史的材料ニ基ヅキテ考察スレバ、歷史的進歩ノ諸階段ハ如何ニシテ成立セシヤ。(三)吾人ノ直接觀察シ得ルニ十分近キ社會ヤ、合理的活動ノ現存ノ諸部類ニ基ヅキ、又現代の社會秩序ノ歴史の起源ヤ、歴史ニ於ケル進歩ノ主要現象ヲ參照シテ考察スレバ、吾人ノ時代ニ於テ可能ナル進歩ハ如何ニシテ成立スルヤ。

第一ノ問題ニ就テらづろづノ論述セル思想ノ要點ヲ簡單ニ述ブレバ、今進歩ノ因素ト認ム可キ二種ノ過程ガアル。一ハ意識的箇人化ノ過程ニシテ、二ハ社會的連帶共同ノ發達ノ過程デアル。

而シテ進歩ハソマリ意識の箇人化ト社會の連帶共同トノ兩者ガ、相伴ナフテ發達スルコトニ於テ、成立スルモノデアル。此クテ社會ハ、其ノ單位ガ同様ナル利害及ビ確信ヲ有シ、教化ノ同等ナル條件ノ下ニ生活シ、一切ノ擾亂の要素ヲ出來ルダケ排除シ、又彼等ノ間ニ於ケル生存競争ノ一切ノ様式ヲ禁止スルトキニ、理想的ノモノトナルデアラウ。而シテ歴史の事實ハ強固ナル社會の團結ト、社會内ニ於ケル強健ナル精神の人格的活動トノ間ニ、何等ノ調和シ難キ矛盾ノ存在スルモノニ非ザルコトヤ、又箇人の思想ハ發達セル箇人ト社會トノ間ニ、連帶共同ヲ成立セシムル方向ニ於テ、建設のニ働キ得ルモノナルコトヲ示シテ居ル。此クテ進歩ハ、少數ノ發達セル箇人ノ確信ニ、彼等ノ利害ハ社會の秩序ノ持續ノ名ノ下ニ於テ、大多數者ノ利害ト同一ノモノデアルト云フ意識ガ、進入スルトキニ於テノミ可能トナルデアアル。然ルニ歴史ヲ通觀スルニ、發達セル少數者ハ一般ニ進歩ヲ促カス爲メニアマリ力ヲ盡クシテ居ラナイ。彼等ハ一般ニ彼等ノ優勝ヲ第一ニ利己の目的ノ爲メニ利用シテ居ル。而モ彼等ノ中ニ社會ノ安寧幸福ノ爲メニ、献身のニ努力スル極少數者ガアツテ、歷史上ニ見ル處ノ進歩ヲ實現シタノデアアル。而シテ其等ノ極少數者ガ進歩ヲ實現スルニ當テ用ヒタル一般的方法ハ下ノ如クデアル。即チ社會の勢力ノ分配ノ形態ヲ變更スルコト、殊ニ生産及ビ交換ノ現存ノ條件ト一致スル様ニ富ノ分配ノ形態ヲ變更スルコト、社會編制ノ現存ノ慣習及ビ法律の形態ヲ利用スルコト、科學の思想ノ種々ナル現存ノ結果、哲學の思想ノ諸系統、藝術思想ノ諸典型、及ビ倫理思想ノ諸般ノ理想等ヲ參考スルコト、社會の連帶共同ヲ出來ルダケ大ニ強メ且ツ廣メ、又社會の意識ヲ出來ルダケ大ニ生長セシムル方針ニ於テ、其等ノ

變動ヲ成就スルコト、最後ニ其等ノ成就セル變動ヲ之レトヨク調和スル政治的形態ニヨリテ強メ、又其等ノ變動ヲ最トモヨク辯護スル科學、哲學及ビ藝術等ノ精神的生産物ヲ以テ之ヲ強メ、而シテ人間ノ健全ナル諸要求ニ夫レ夫レ對應スル倫理的理想ヲ現實ナル生活ニ於テ體現スルコト等デアル。らづろゞハ只以上述べシガ如キ方法ニヨリテノミ、人類社會ニ於ケル進歩ハ一般ニ可能デアツタト考ヘタノデアル。

次ニ第二ノ問題卽チ歴史の進歩ノ現實ナル諸階級ハ如何ニ成立スルカト云フ問題ニ就テハ、らづろゞハ之ヲ彼ノ文明史の著作ノ中ニ論究シテ居ルガ、今彼ノ考フル處ニヨレバ文明史ノ根本問題ハ、ツマリ箇人ノ批判的思考ガ、眞理ト正義トヲ注入セント努力スルコトニヨリテ如何ニシテ社會ノ文化ヲ化成スルヤト云フコトデアル。而シテ彼ハ動物的及ビ史前の時代ヨリシテ、人類ハ如何ニシテ推理スル實在物トシテ發生セシカト云フ問題ヨリ、論ジ始メテ居ル。併シ茲ニハ文明史ニ關スル彼ノ廣大ナル研究ノ大要ダケモ之ヲ説述スル暇ハナイカラ、只彼ガ嚴密ニ歴史の時代ト稱スルモノニ就テ、極簡單ニ述ブルニ止メルガ、彼ノ考フル處ニヨレバ、嚴密ナル意味ニテ云フ歴史の時代ハ自己ノ發達ヲ欲望セル知者ノ小團體内ニ於テ始マレルモノデアル。是レ此等ノ小團體ガ批判的思考ヲ始メテ發達サセタカラデアル。而シテ彼等ハ先ヅ二ケノ重大ナル歴史の勢力ヲ產出シタ。其ノ一ハ利己的目的ノ爲メデハナク、理想ノ爲メニ盡クサントスル人格的或ハ箇人の確信ニシテ、其ノ二ハ人類ハ一デアルト云フ世界主義的觀念デアル。此等二ケノ確信及ヒ觀念ノ發達ニヨリテ、批判的ニ思考スル人格ヲ中心トシテ歴史的生活ハ發達シタノデアル。併シ此等ノ

批判的ニ思考スル人格者ノ群レハ從來比較的ニ少數デアツタガ、恐クハ將來モ同様デアラウ。而シテ大多數者ハ尙ホ彼等ノ利己的欲望ヤ習慣ヤ流行ニヨリテ支配サレルデアラウ。而モ選良ノ群レガ段々増大シ、且ツ強マリテ多數者ニ摸倣サレルコトナリ、此クテ總テノ人々ガ隨從スル一種ノ流行ガ起リ、又總テノ人々ガ參加セント欲スル知識階級ガ發達スルデアラウ。らぐるがハ此ノ如クニ考ルコトニヨリテ第三ノ問題、即チ吾人ノ時代ニ於テ可能ナル進歩ハ如何ニ成立スルカト云フ問題ニ觸レテ來タ。併シ彼ハ此ノ問題ニ就テハ明確ナル答解ヲ與ヘテ居ラナイ。蓋シ彼ハ此ノ問題ニ答フルモノハ、書物デハナクシテ、實生活ノ經驗デアルト信ンジテ居ツタカラデアル。而モ彼ガ諸般ノ實際問題ニ就テ論述シテ居ル處ヲ考察スルニ、彼ハ吾人ノ時代ニ於テ進歩ヲ圖ル主要ナル仕事ハ、社會主義的綱領ニ從フテ現在ノ經濟的秩序及ビ政治的形態ヲ改造スルコトデアルト考ヘテ居ツタト推知サレルノデアアル。然ラバ彼ノ社會主義トハ、如何ナルモノデアリシカ、又彼ハ露國ノ當面ノ改造ヲ如何ニ考ヘテ居ツタカ。此等ノ問題ニ就テモ茲ニ彼ノ思想ヲ詳シク述ブル暇ハナイカラ、極簡單ニ其ノ要點ダケヲ述ベテ置ク。

らぐるがノ社會主義ハかんとノ人道的觀念ヲ基礎トシテ構成サレタルモノニシテ、彼ハまゝるくす及ビ早代ノまゝるくす主義者ト親シク交ハツテ居ツタガ、併シ唯物史觀ヲ始メ總テ純客觀的ニ社會生活ヲ説明セントスル方針ニ反對シタ。而シテ人間、生命及ビ犠牲ヲ彼ノ提句トナシ、又眞理ト正義トヲ彼ノ二大要求トシタ。彼ノ考ヘデハ、理論的ニハ眞理ヲ求メ、實際的ニハ正義ヲ求ムルハ發達セル人格、批判的ニ思考スル人格ノ義務デアアル。彼ハ又國家ニ對スル見解ニ於テモ

まゝるくす派トハ異ナツテ居ツタ。彼ノ見ル處デハ、社會主義ハ先ヅ國家ヲ破壞スル爲メニ努力  
ス可キモノデアル。國家ハ全ク外部のナ秩序ニシテ本來強制的性質ノモノデアル。始メハ全ク物  
質的ナル強制力ニシテ、後ニハ倫理的又ハ宗教的性質ヲ帶ビテ來ルガ、而モ常ニ外部のナ隨フテ  
強制的ナモノデアル。サレバ國家ガ強大ナル勢力ヲ振フ以上ハ、進歩ハ到底擄取ラナイノデ、其  
ノ勢力ガ最少極度ニ下ル場合ニ於テ、始メテ進歩ノハカユキヲ見ルコトガ出來ルノデアル。而シ  
テ近世社會主義ハ實ニ國家ノ勢力ヲ最少極度ニマデ推シ下サントスルモノニシテ、其處ニ其ノ進  
歩的重要ガ認メラレルノデアル。要スルニらうろろハ國家組織ハ如何ニ自由主義ニ基ツケルモノ  
ト雖ドモ、本來中央集權のノモノニシテ、貴族ヤ資産階級ノ利益ヲ圖リ、人民ノ利益ヲ犧牲ニ供ス  
ルモノデアルカラ、之ヲ出來ルダケ壓縮シ、或ハ破壞スルニ非ラズバ、眞ニ一般人民ノ利益ヲ増  
進スルコトガ出來ナイト考ヘタノデアル。此クテ彼ハ地方團體ノ聯合組織ヲ以テ、將來ノ政治組  
織トナサントシタノデアル。而シテ又其ノ見地カラ露國ノ進歩ヲ畫策シ、同國ニ於テハ資本主義  
及ビ自由主義的國家組織ノ發達ヲ避ケ、傳來ノみゐる制度ヲ保持シ、且ツ益々其ノ健全ナル發達  
ヲ圖ル可キモノト考ヘタノデアル。サレバ彼モ矢張へるつえんヤちえるにしえぐすき等ノ西歐主  
義者ト同ジク、農民ノ土地共同團體ヲ基礎トシテ、非資本主義的ニ露國ノ進歩ヲ圖ラントシタノ  
デアル。吾人ハすらゞ主義者ヤ、露西亞主義者モ、亦西歐主義モ、更ニ主觀主義者モ其ノ根本思  
想ニ於テ種々異ナリ、否ナ屢々相反對シテ居ルニ係ラズ、何レモみゐる制度ノ保持發達ヲ以テ、  
露國ノ進歩ノ基礎トナサントセルヲ見テ、該制度ガ如何ニ強ク一般ニ露國ノ思想家ノ精神ヲ拘ヘ

テ居ツタカラ察スルコトガ出來ル。又彼等ガ西歐ニ於ケル資本主義ノ弊害ヲ如何ニ痛切ニ感じ、而シテ資本主義ニ對シテ如何ニ強キ反感ヲ抱イテ居ツタカラ察スルコトガ出來ル。次ニ考究セントスルみかいろぐすきーモ矢張同ジ見解ヲ主張シテ居ツタノデアル。

みかいろぐすきー、Nikolai Konstantinovich Mikhailovsky (1824-1904.)

みかいろぐすきーハ露國ニ於ケル最トモ創始的ナル最初ノ社會學者デアルト云ハレ、又主觀主義ノ真髓ヲ最トモ深ク發揮セル人デアルトモ云ハレテ居ル。サレバ今主觀主義ノ思想ヲ考究スルニ當テハ、吾人ハ彼ノ學說ニ最トモ多ク注意ヲ拂ハネバナラナイノデアル。然ルニ余バ彼ノ哲學及ビ社會學ニ就テハ、「みかいろぐすきーノ社會學說ノ創始的價值」ト題スル、論文ヲ目下「哲學研究」ニ於テ連載シツツアルカラ、本論文ニ於テハ、主トシテ露國ノ社會政策ニ關スル彼ノ根本思想ヲ簡單ニ説述スルニ止メタイト思フ。

みかいろぐすきーハ主觀的方法ノ精神、即チ目的論的倫理的考察ノ精神ヲ最トモ深ク究明シ、此ノ方法ニ基ツキテ彼ノ「箇性ノ爲メノ戦ヒ」主義ヲ樹立シ、而シテ眞理ト正義トノ調和又ハ合致ヲ理想トスル社會哲學的思想、即チ彼ノぶらぐだ説ト稱セラルルモノヲ説イタノデアルガ、此等ノ事ハ「哲學研究」ノ論文中ニ稍々詳シク論述シテ居ルカラ茲ニハ重ネテ論述スルコトヲ避ケ、只彼ノ人類進歩論ノ要點ト、其ノ終局ノ時代ニ到達スル爲メニ、露西亞民族ノトル可キ根本方針ニ關スル彼ノ思想ノ一般トヲ簡單ニ説述スルダケニ止メル。

みかいろぐすきーハ人類ノ進歩ヲ、三階段或ハ三時代ニ大別シテ考察シテ居ル。而シテ第一階

段或ハ時代ヲ客觀の人類中心階段或ハ時代、第二階段或ハ時代ヲ人類外中心、或ハ偏局時代ト稱シ、第二階段或ハ時代ヲ主觀の人類中心時代ト稱シテ居ル。今彼ノ考ヘニヨレバ、客觀の人類中心時代トハ、人類ガ己レ自身ヲ以テ宇宙ノ客觀のナ絕對的ニ眞實ナル中心ト觀念スル時代ニシテ、精神的ニハ擬人主義、神秘主義、神學及ビ宗教ノ時代、而シテ經濟的ニハ單純協働即チ共同目的ニ對シテ箇人ノ全人格ガ協働スル時代デアル。然ルニ次ノ偏局時代或ハ人類外中心時代ニ於テハ、心身二元主義ガ極端ニ發達シ、人類ハ全ク抽象の概念ノ支配ノ下ニ置カレ、人類ノ理想及ビ義務ハ總テ彼レ自身外ノ抽象の空虛ノ中ニ認メラレル。サレバ此ノ時代ニ於テハ、精神的ニハ形而上學ガ大ニ盛ヘ、而シテ經濟的ニハ分業及ビ専門化ヲ骨髓トスル複合協働ガ大ニ發達スル。然ルニ其ノ結果トシテ、簡性ノ完全及ビ圓滿ガ大ニ傷害ヒラレ、箇人ハ只己レ自身ノ一小斷片ニ縮少シテ仕舞フ、或ハ單純ナル道具ニ化シテ仕舞フ。隨フテ簡性ハ支離滅裂スル恐レガアル。要スルニ此ノ第二階段ニ於テハ、箇人ノ經濟的效驗ガ大ニ増進スルガ、併シ簡性ノ完全、人格ノ全體の價值ガ減少スル。ツマリ此ノ階段ニ於テハ、文明ノ發達階段ハ高マルガ、文明ノ發達典型ハ低下スル。例ヘバ英國ノ勞働者ハ、村落共同團體ニ於テ生活スル露西亞ノ農民ヨリモ、文明ノ高キ發達階段ニ上ツテ居ルガ、併シ後者ハ前者ヨリモ活動ノ一層廣キ範圍ヲ有シ、簡性ノ完全ニ付テハ、前者ヨリモ勝レテ居ルガ爲メニ、一層高尚ナル文明典型ヲ有スルモノデアル。此クテ第二階段ノ愈々發達スルニツレテ、健全ナル識者ノ方面ヨリ、簡性ノ完全ノ爲メニ自カラ反動ガ起ツテクル。即チ簡性ノ爲メノ戰ヒハ、簡性ノ破壞サルル傾向ノ強マルニツレテ、自カラ強マラザルヲ



得ナクナル。而シテ夫ヨリシテ第三ノ主觀の人類中心時代ガ發達シテクルノデアルガ、此ノ時代ニ於テハ、簡性ノ完全ナル發達、即チ人間主義ト、自然ノ征服或ハ支配トガ相伴ナフテ發達スル。一方ニ於テハ倫理的理想及ビ人間の神學ノ發達スルニ伴ナフテ、他方ニ於テハ科學及ビ實證主義ハ發達スル。而シテ經濟のニハ、單純デアルガ併シ高等ナル協働、即チ簡人ガ其ノ特有ノ簡性ヲアラユル方面ニ於テ調和のニ發達サセ、而シテ相互ニ共同目的ノ爲メニ協力スル其ノ高尚ナル協働ガ、段々發達シテクル。是レ人類進歩ノ最後ノ階段ニシテ、今ヤ西歐諸國民ハ第二ノ階段ヲ十分ニ發達サセタガ、併シ若シ此ノ最後ノ階段ニ進ム方針ニ着目スルニ非ラズンバ、早晚滅亡セザルヲ得ザル運命ニ陥ツテ居ルノデアル。然ルニ露西亞ハマダ第二ノ階段ニヨク到達シテ居ラナイ。然ラバ西歐諸國民ノ跡ヲ追フテ、先ヅ第二ノ階段ヲ十分ニ發達サセタル後ニ、始メテ第三ノ階段ニ進ムト云フ方針ヲトル可キカ。又ハ今日ヨリシテ直チニ第三ノ階段ニ進マントスル方針ヲトル可キカ。みかいろヅスキハ後者ノ方針ヲ選バントスルノデアル。

彼ノ考フル處ニヨレバ、近世的分業ノ發達ハ簡性ノ完全ヲ害スルモノニシテ、人類ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲メニハ、吾人ハ出來ルダケ之ヲ避ケネバナラヌ。而シテ近世ノ工場組織ハ實ニ此ノ分業ヲ基礎トシテ成立スルモノデアルカラ、工場組織モ亦人類ノ健全ナル發達ノ爲メニハ有害デアル。此ノ事ハ今ヤ西歐諸國民ガ最トモ明白ニ證明シテ居ル事實デアル。要スルニ資本主義組織ハ、人類ノ健全ナル發達、簡性ノ完全ナル調和の發達ノ爲メニハ有害ナルモノニシテ、露西亞ニ於テマダ其ノヨク發達シテ居ラナイノハ、露西亞ノ大ナル幸福デアル。而シテ露西亞ハ其ノ傳來ノ村落共同團體制度ヲ維持シ、之レガ適當ナル發達ヲ圖ルコトニヨリテ、以テ資本主義ノ害惡ヲ避クル

ト同時ニ、最トモ健全ナル發達ヲ成就シ、第三階段ノ精神ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ルノデア  
ル。併シ露西亞ノみゝる制度ニ對シテハ種々ナル反對ガアル。殊ニ最トモ重大ナル弊害トシテ、  
農民ノ手足ヲ土地ニ束縛シ、箇人の活動ニ對シテ何等ノ自由モ與ヘナイト云フ事ガ主張サレテ居  
ル。是レみかいろゞすきノ「箇性ノ爲メノ戰ヒ」主義カラ見テ甚ダ重大ナル非難デアル。然ラバ彼  
ハ之レニ對シテ如何ニみゝる制度ヲ辯護シテ居ルカ。彼ノ考ヘニヨレバ、經濟的活動ニ於ケル箇  
人の創始ハ、只財産所有者ニ於テノミ可能デアアル。サレバ勞動ト財産トヲ分離セシムル社會組織  
ホド恐ル可キモノハナイ。カカル社會組織ハ、人民ヨリ箇人の創始、箇人ノ獨立及ビ自由ヲ全ク奪  
ヒ去ルモノデアアル。更ニみかいろゞすきノ考ヘニヨレバ、國土ノ自然の富源ハ只產業ノ競争的  
組織ニヨリテノミ十分ニ開拓サレルモノト見ルハ謬見デアアル。ソレハ土地ノ共同所有制度ニヨリ  
テモ亦十分ニ開拓サレ得ルモノデアアル。否ナ此ノ制度ニヨリテ最トモ十分ニ、且ツ最トモ健全ニ  
開拓サレルモノデアアル。社會ノ資本主義的產業組織ノ危險ト害惡ヨリ免レテ、箇性ノ完全ナル發  
達ヲ切望スルモノニトリテハ、みゝる制度ハ實ニ尤トモ有力ナル救済者デアアル。サレバ露西亞民  
族ノ將來ハみゝる制度ニヨリテ決定サレルモノニシテ、政府ノ權力ヲ以テ其ノ保持及ビ發達ヲ圖  
ルコトハ、露國ノ社會政策ノ根本主義デアアル。みゝる制度ガ適當ニ制限セラレ、且ツ正當ニ指揮  
經營サルルニ於テハ、箇人ノ全箇性ノ調和的發達ニ對スル好機會ガ與ヘラレ、之レニヨリテ發達  
ノ典型ノ低下ガ防ガレ、且ツ發達ノ階段ガ漸次ニ高メラレルノデアアル。

今みかいろゞすきノ人類ノ進歩ニ就テ上ニ述ベシガ如キ思想ヲ抱懷シ、而シテ之ヲ露國ニ於  
テ實現セントスルニ當テハ、可キ社會政策ノ根本方針ヲ、上ニ述ベシガ如クニ論定シタノデアアル

理想ニ背馳シテ居ルコトヲ潛カニ意識シテ悲觀的ナ氣分ヲ有ツテ居ツタノデアアル。

ハ影響ニヨリテ幾多ノ思想家が出現シタ。其ノ中デゆうざこう、らすみく、ふるがろう等ノ人々ノ

説ハ殊ニ注意スル價值ガアル。更ニ主觀主義思想ノ理論的發達ノ上カラ見テ、かれいゝゞノ如キハ最トモ注意ス可キ人ニシテ、彼ハ斯派ノ思想家中唯一ノ大學教授デアリ、其ノ學識ノ該博ナルコトト、又其ノ見解ノ總合的包括的組織的ナルコトトニヨリテ、主觀主義派ノ思想ヲ大成セルモノトモ云ハレテ居ル。併シ茲ニ此等諸家ノ説ヲ一々論述シテ居ル暇ハナク、且ツ社會進化ト資本主義トノ關係ニ就テ主觀主義派ハ如何ナル見解ニ到達シタカハ、らゞろゞ及ビみかいるゞすきノ説ヲ見レバ夫レデ、十分ニ理解サレルト思ハレルカラ、余ハ次ニ此ノ派ニ反對シテ起レル客觀主義派ノ思想ノ考究ニ移リタイト思フ。要スルニ主觀主義派ノ説ノ理論的價值ハ如何ニアラウトモ、其ノ露國ノ社會的進化ヲ非資本主義的ニ指導セントスルニ於テ、該派ハ全然失敗セシモノト云ハネバナラヌ。彼等ガ露國ノ特別の進化ノ基礎ト認メタルみゝる制度ハ、彼等ガ極力排斥シツツアリシ及ビ發達ノ必要ヲ主張シタルニ係ラズ、日々ニ衰退シ行キ、而シテ彼等ガ極力排斥シツツアリシ資本主義ハ、彼等ノ眼前ニ於テ段々發達シツツアツタノデ、みかいるゞすきノ如キハ、上ニ述ベシ如ク不知不識ニ悲觀的氣分ヲ起サザルヲ得ナカツタノデアル。ツマリ主觀主義ノ説ハ其ノ理論ノ高遠深奥ナルニ係ラズ、實際的政策ニ於テハ時勢ニ逆行セルモノニシテ、少クモ其ノ方面ニ於テハ早晚いんてりげんちや階級ノ信用ヲ失ハザルヲ得ナカツタノデアル。此クテ主觀主義ハ千八百八十年代ニ於テ、其ノ勢力頂上ニ達シタル後、同九十年代ニ入りテヨリ、之レト對抗シテ起レル客觀主義ニヨリテ段々壓倒サレテ來タノデアルガ、然ラバ其ノ客觀主義派ナルモノノ理論的思想并ニ實際的政策論ハ如何ナルモノデアルカ、又是レト最近ノ大革命トノ間ニハ如何ナル關係ガアルカ。